



平成31年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年9月28日

上場会社名 株式会社アダストリア 上場取引所 東  
 コード番号 2685 URL <http://www.adastria.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 福田 三千男  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営統括本部長 (氏名) 金銅 雅之 (TEL) 03-5466-2010  
 四半期報告書提出予定日 平成30年10月15日 配当支払開始予定日 平成30年10月22日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年2月期第2四半期の連結業績(平成30年3月1日～平成30年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年2月期第2四半期	105,005	△2.6	529	△86.0	600	△84.6	△554	—
30年2月期第2四半期	107,793	10.3	3,790	△52.9	3,900	△51.5	4,794	△1.1

(注) 包括利益 31年2月期第2四半期 △744百万円(—%) 30年2月期第2四半期 1,796百万円(△47.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年2月期第2四半期	△11.79	—
30年2月期第2四半期	101.92	—

(参考) EBITDA 31年2月期第2四半期 4,895百万円(△41.3%) 30年2月期第2四半期 8,337百万円  
 のれん償却前EPS 31年2月期第2四半期 13.11円(△89.8%) 30年2月期第2四半期 129.08円

※両指標の定義、計算方法等の詳細は、添付資料3ページ「経営成績に関する説明」をご覧ください。

(注) 前連結会計年度末において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、平成30年2月期第2四半期については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の重要な見直しが反映された後の金額によっております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年2月期第2四半期	88,884	49,650	55.9
30年2月期	91,123	51,030	56.0

(参考) 自己資本 31年2月期第2四半期 49,650百万円 30年2月期 51,030百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年2月期	—	35.00	—	15.00	50.00
31年2月期	—	20.00	—	—	—
31年2月期(予想)	—	—	—	30.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年2月期の連結業績予想(平成30年3月1日～平成31年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	227,000	1.9	8,400	67.8	8,700	60.3	4,400	409.4	93.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(参考) EBITDA 31年2月期 通期(予想) 16,000百万円(5.7%)  
 のれん償却前EPS 31年2月期 通期(予想) 121.17円(2.2%)

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

31年2月期2Q	48,800,000株	30年2月期	48,800,000株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

31年2月期2Q	1,736,224株	30年2月期	1,759,875株
----------	------------	--------	------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

31年2月期2Q	47,053,776株	30年2月期2Q	47,041,975株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
3. 補足情報	10
(1) ブランド・地域別売上高の状況	10
(2) 商品部門別売上高の状況	10
(3) 店舗出退店等の状況	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

## 連結業績

	平成30年2月期 第2四半期 連結累計期間 (平成29年3月1日から 平成29年8月31日まで)	平成31年2月期 第2四半期 連結累計期間 (平成30年3月1日から 平成30年8月31日まで)	増減	増減率
売上高 (百万円)	107,793	105,005	△2,787	△2.6%
営業利益 (百万円)	3,790	529	△3,260	△86.0%
経常利益 (百万円)	3,900	600	△3,300	△84.6%
親会社株主に帰属 する四半期純利益 (百万円)	4,794	△554	△5,349	—
EBITDA (百万円)	8,337	4,895	△3,442	△41.3%
のれん償却前EPS (円)	129.08	13.11	△115.96	△89.8%

当第2四半期連結累計期間の連結業績は、売上高が1,050億5百万円（前年同期比2.6%減）、営業利益が5億29百万円（前年同期比86.0%減）、経常利益が6億円（前年同期比84.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純損失が5億54百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益47億94百万円）となりました。

また、EBITDAは48億95百万円（前年同期比41.3%減）、のれん償却前EPSは13.11円（前年同期比89.8%減）となりました。（※）

売上高につきましては、前年度第1四半期末に連結子会社化した米国Velvet, LLCの売上がフルに寄与したことにより、海外売上高は前年同期比16.3%の増収となった一方、国内売上高が全体的に苦戦したことにより前年同期比3.7%の減収となった結果、連結売上高は前年同期比2.6%の減収となりました。

国内売上高が総じて低調だった要因としては、「ニコアンド」以外のブランドで4月から5月にかけて夏物商品の売れ行きが不芳だったことが挙げられます。夏物セールと晩夏商品投入時期の前倒しなどの対策を実施したことにより6月以降は回復基調となりましたが、7月の猛暑や豪雨の天候不順の影響による苦戦もあり、第1四半期のマイナスをカバーできませんでした。（詳細は「3. 補足情報（1）ブランド・地域別売上高の状況」をご覧ください。）

店舗展開につきましては、52店舗の出店（内、海外7店舗）、70店舗の退店（内、海外18店舗）などの結果、当第2四半期連結累計期間末における当社グループの店舗数は、1,485店舗（内、海外115店舗）となりました。特に中国事業においては、前期に策定した事業再構築の方針に沿って、不採算店の閉鎖を積極的に進めました。（詳細は「3. 補足情報（3）店舗出退店等の状況」をご覧ください。）

収益面につきましては、上述の通り国内販売が苦戦した結果、在庫消化のための値引き販売が増加したことにより、売上総利益率は53.9%（前年同期比1.9ポイント減）となりました。

販売費及び一般管理費につきましては、前年に発生した本部の移転費用の負担がなくなったものの、テレビコマーシャルなどの広告宣伝を積極的に展開したことに加え、EC関連の販促費用の増加や配送単価の上昇などから前年同期比微減に止まった結果、販管費率は53.4%（前年同期比1.2ポイント増）となり、営業利益率は0.5%（前年同期比3.0ポイント減）となりました。

特別損益につきましては、特別損失として、店舗の減損損失2億76百万円を計上いたしました。

(※) 平成26年2月期以降、現預金の流出を伴わない費用であるのれん償却額の影響により、キャッシュフローの増減と、営業利益以下の利益項目の増減に大きな乖離が発生しております。また、各国の会計基準によって計上方法が異なるため、海外企業との適切な比較も困難になっております。これらの点を考慮し、「EBITDA」及び「のれん償却前EPS」を参考指標として開示しております。

「EBITDA」

営業利益 + 減価償却費 + のれん償却額（販管費）

「のれん償却前EPS」

（親会社株主に帰属する当期純利益 + のれん償却額（販管費、特別損失） + 減損損失（のれん））

÷ 期中平均株式数

## (2) 財政状態に関する説明

### ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて、22億38百万円減少して888億84百万円となりました。これは主に、有形固定資産のその他（純額）が13億11百万円、受取手形及び売掛金が11億73百万円それぞれ増加した一方で、現金及び預金が37億43百万円、のれんが11億78百万円それぞれ減少したことによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べて、8億58百万円減少して392億34百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が8億73百万円増加した一方で、電子記録債務が14億29百万円、未払金が2億42百万円それぞれ減少したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べて、13億79百万円減少して496億50百万円となりました。これは主に、利益剰余金が12億68百万円減少したことによるものです。

### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」といいます。）は、前連結会計年度末に比べて、37億47百万円減少して156億33百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、25億16百万円（前年同期は53億95百万円の収入）となりました。これは主に、売上債権の増加額が12億20百万円あった一方で、減価償却費が32億58百万円あったことによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、53億26百万円（前年同期は43億96百万円の支出）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出が40億93百万円、無形固定資産の取得による支出が13億53百万円それぞれあったことによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、8億88百万円（前年同期は29億71百万円の支出）となりました。これは主に、配当金の支払額が7億15百万円あったことによるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年4月4日に公表いたしました通期の連結業績予想を変更しておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	19,446	15,702
受取手形及び売掛金	8,810	9,984
たな卸資産	18,073	17,814
その他	3,570	3,623
貸倒引当金	△116	△71
流動資産合計	49,785	47,053
固定資産		
有形固定資産		
店舗内装設備(純額)	7,301	7,374
その他(純額)	5,022	6,334
有形固定資産合計	12,324	13,708
無形固定資産		
のれん	1,959	781
その他	4,255	4,929
無形固定資産合計	6,214	5,710
投資その他の資産		
投資有価証券	1,101	1,028
敷金及び保証金	18,263	17,784
その他	3,711	3,913
貸倒引当金	△278	△313
投資その他の資産合計	22,799	22,412
固定資産合計	41,338	41,831
資産合計	91,123	88,884
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,227	11,101
電子記録債務	9,898	8,469
短期借入金	2,657	2,536
未払金	9,418	9,175
未払法人税等	1,322	1,487
賞与引当金	2,413	2,508
ポイント引当金	698	820
事業整理損失引当金	1,141	959
その他の引当金	140	273
その他	527	464
流動負債合計	38,446	37,797
固定負債		
引当金	346	267
その他	1,299	1,169
固定負債合計	1,645	1,437
負債合計	40,092	39,234

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,660	2,660
資本剰余金	7,227	7,227
利益剰余金	45,245	43,976
自己株式	△4,652	△4,574
株主資本合計	50,480	49,290
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	235	163
繰延ヘッジ損益	△76	30
為替換算調整勘定	391	166
その他の包括利益累計額合計	550	360
純資産合計	51,030	49,650
負債純資産合計	91,123	88,884

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年8月31日)
売上高	107,793	105,005
売上原価	47,693	48,356
売上総利益	60,099	56,649
販売費及び一般管理費	56,309	56,119
営業利益	3,790	529
営業外収益		
受取配当金	45	12
受取家賃	55	47
その他	171	183
営業外収益合計	272	244
営業外費用		
支払利息	10	18
持分法による投資損失	39	—
為替差損	17	52
デリバティブ評価損	18	47
賃貸収入原価	48	44
その他	26	11
営業外費用合計	161	173
経常利益	3,900	600
特別利益		
固定資産売却益	25	—
投資有価証券売却益	4,373	—
特別利益合計	4,398	—
特別損失		
減損損失	151	276
特別損失合計	151	276
税金等調整前四半期純利益	8,148	323
法人税、住民税及び事業税	3,323	1,142
法人税等調整額	29	△263
法人税等合計	3,353	878
四半期純利益又は四半期純損失(△)	4,794	△554
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	4,794	△554



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年8月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	4,794	△554
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,077	△72
繰延ヘッジ損益	△10	107
為替換算調整勘定	90	△224
その他の包括利益合計	△2,997	△189
四半期包括利益	1,796	△744
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,796	△744
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	8,148	323
減価償却費	3,427	3,258
減損損失	151	276
のれん償却額	1,277	1,172
貸倒引当金の増減額(△は減少)	59	△9
賞与引当金の増減額(△は減少)	139	95
ポイント引当金の増減額(△は減少)	10	122
事業整理損失引当金の増減額(△は減少)	—	△182
固定資産売却損益(△は益)	△25	—
投資有価証券売却損益(△は益)	△4,373	—
持分法による投資損益(△は益)	39	—
売上債権の増減額(△は増加)	△879	△1,220
たな卸資産の増減額(△は増加)	△523	197
仕入債務の増減額(△は減少)	2,140	△538
未払金の増減額(△は減少)	402	△170
未払消費税等の増減額(△は減少)	△148	188
その他	△241	△116
小計	9,605	3,398
利息及び配当金の受取額	46	13
利息の支払額	△10	△18
法人税等の支払額	△4,246	△877
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,395	2,516
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△4,366	△4,093
有形固定資産の売却による収入	105	—
無形固定資産の取得による支出	△1,417	△1,353
投資有価証券の取得による支出	△57	△0
投資有価証券の売却による収入	5,082	—
敷金及び保証金の差入による支出	△1,589	△484
敷金及び保証金の回収による収入	538	626
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△3,713	—
事業譲受による収入	1,023	—
その他	△2	△20
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,396	△5,326
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(△は減少)	△231	△57
長期借入金の返済による支出	△725	—
配当金の支払額	△1,903	△715
自己株式の取得による支出	△3	△1
その他	△107	△114
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,971	△888
現金及び現金同等物に係る換算差額	△6	△49
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,979	△3,747
現金及び現金同等物の期首残高	20,706	19,381
現金及び現金同等物の四半期末残高	18,727	15,633

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

## 3. 補足情報

## (1) ブランド・地域別売上高の状況

ブランド・地域	当第2四半期連結累計期間		前年同期比増減率 (%)
	売上高(百万円)	構成比(%)	
グローバルワーク	18,726	17.8	△4.8
ニコアンド	15,124	14.4	11.1
スタディオクリップ	11,883	11.3	△4.2
ローリーズファーム	10,300	9.8	△14.5
レプシム	7,174	6.8	△3.6
ジーナシス	5,708	5.5	△4.4
ベイフロー	4,050	3.9	7.2
レイジブルー	3,609	3.5	△12.8
その他(注3、4)	13,048	12.4	△25.3
当社計	89,626	85.4	△7.1
株式会社アリシア(注3)	4,210	4.0	△16.7
株式会社エレメントルール(注4)	3,933	3.7	—
その他連結子会社	1	0.0	—
国内合計	97,772	93.1	△3.7
香港	2,616	2.5	△12.3
中国	793	0.7	△11.4
台湾	1,149	1.1	42.5
韓国	591	0.6	40.2
米国(注5)	2,083	2.0	87.0
海外合計	7,233	6.9	16.3
グループ合計	105,005	100.0	△2.6

- (注) 1. 店舗を運営管理しているブランド営業部・地域別に集計しております。  
2. 上記の金額は外部顧客に対するもので、連結会社相互間の内部売上高は含まれておりません。  
3. 平成30年8月1日付で、株式会社アリシアのページボーイ事業など3事業を当社に承継する吸収分割を実施しております。  
4. 平成30年3月1日付で、当社のバンヤードストーム事業及びバビロン事業を株式会社エレメントルールに承継する吸収分割を実施しております。  
5. 米国(Velvet, LLC)は、前第1四半期末に連結子会社となったため、前年同期比増減率は前年同期(3ヶ月)の売上高と比較した増減率を記載しております。

## (2) 商品部門別売上高の状況

商品部門	当第2四半期連結累計期間		前年同期比増減率 (%)
	売上高(百万円)	構成比(%)	
メンズ(ボトムス・トップス)	14,201	13.5	△3.7
レディース(ボトムス・トップス)	69,700	66.4	△2.7
雑貨・その他	21,104	20.1	△1.3
合計	105,005	100.0	△2.6

- (注) 1. 雑貨・その他は、ポイント引当金繰入額等が含まれております。  
2. 上記の金額は外部顧客に対するもので、連結会社相互間の内部売上高は含まれておりません。

## (3) 店舗出退店等の状況

ブランド・地域	店 舗 数						
	前連結 会計年度末	当第2四半期連結累計期間					当第2四半期 連結累計期間末
		吸収分割	出店	変更	退店	増減	
グローバルワーク	210	—	6	—	△1	5	215
ニコアンド	132	—	4	—	△1	3	135
スタディオクリップ	195	—	1	—	△4	△3	192
ローリーズファーム	149	—	2	—	△6	△4	145
レブシム	138	—	2	—	△3	△1	137
ジーナシス	76	—	1	—	△3	△2	74
ベイフロー	39	—	6	—	—	6	45
レイジブルー	57	—	3	—	△2	1	58
その他(注3、4)	279	14	11	—	△13	12	291
当社計	1,275	14	36	—	△33	17	1,292
株式会社アリシア(注3)	100	△82	1	2	△19	△98	2
株式会社エレメントルール(注4)	—	68	8	—	—	76	76
国内合計	1,375	—	45	2	△52	△5	1,370
香港	24	—	1	—	△1	—	24
中国	49	—	—	—	△14	△14	35
台湾	31	—	6	—	△2	4	35
韓国	11	—	—	—	—	—	11
米国	11	—	—	—	△1	△1	10
海外合計	126	—	7	—	△18	△11	115
グループ合計	1,501	—	52	2	△70	△16	1,485

- (注) 1. 店舗を運営管理しているブランド営業部・地域別に集計しております。  
2. 店舗数は、他社WEBストア、自社WEBストアを含めて集計しております。  
3. 平成30年8月1日付で、株式会社アリシアのページボーイ事業など3事業を当社に承継する吸収分割を実施しております。  
4. 平成30年3月1日付で、当社のバンヤードストーム事業及びバビロン事業を株式会社エレメントルールに承継する吸収分割を実施しております。